

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 東日本旅客鉄道株式会社（証券コード:9020）

### 【据置】

長期発行体格付                    A A A p  
格付の見通し                    安定的

### ■格付事由

- (1) 国内首位の鉄道営業距離数を誇る旅客鉄道会社。事業エリアは首都圏を中心に東日本エリアを広くカバーする。充実した在来線ネットワークに加え広域都市間輸送を担う新幹線ネットワークにより、通勤通学需要に加えて広く観光需要を取り込んでいる。運輸業を中心に安定した高いキャッシュフロー創出力が維持されている。
- (2) 首都圏における高密度の鉄道ネットワークが安定した通勤通学需要を取り込んでおり、在来線輸送人員は当面堅調な推移が見込める。東北新幹線および北陸新幹線では利便性向上などによりビジネス需要と観光需要の取り込みが進んでおり、対航空機シェアは高まっている。生活サービス事業では当社の強みである高い集客力を持つ駅施設を活用した商業施設やホテルを積極的に展開しており、キャッシュフローの積み上げが進んでいる。中期的に品川開発プロジェクトをはじめとする高水準の成長投資および重点枠（イノベーション投資等）が計画されており、今後、有利子負債が増加に転じる局面も想定される。しかし中長期的に一定の財務規律を遵守する方針が示されており、現状程度の良い財務指標水準を維持していく可能性が高い。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 19/3期営業利益は4,820億円（前期比0.1%増）の計画。引き続き堅調な業績推移が予想されている。運輸業での物件費増加などが織り込まれているものの、商業施設の開業効果などで吸収できる見込みである。積極的な成長投資および重点枠が計画されており、19/3期設備投資額は6,450億円（同946億円増）と増加する見込み。しかし高水準のキャッシュフロー創出力を背景に、引き続き前期程度の財務諸指標の水準を維持できると考えられる。
- (4) グループ経営ビジョン「変革2027」では、将来的な鉄道による移動ニーズの減少を前提として、移動のシームレス化による交通利便性の向上およびSuicaの共通基盤化を進め利用機会を拡大することで多様なサービスのワンストップ化が可能となる環境の実現を目指している。発行枚数7,000万枚弱、一日当たりの利用件数約660万件を誇るSuicaの利用価値をいかに高めていくかが、当社にとって大きなテーマと考えられる。維持更新投資、既存事業の収益拡大などに向けた成長投資に加え、経営ビジョンで描かれている将来像の実現に向けた投資の実施が想定される。しかし、高いキャッシュフロー創出力を踏まえれば現状の良い財務内容が大きく損なわれる局面は想定しにくい。

（担当）上村 暁生・加藤 直樹

### ■格付対象

発行体：東日本旅客鉄道株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AAAp	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年10月5日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「鉄道」(2011年7月13日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 東日本旅客鉄道株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 非依頼格付について：  
本件信用格付は格付関係者からの依頼に基づかない信用格付である。国に対する信用格付である場合を除き、依頼に基づく格付と区別するため格付記号の後に「p」を表示している。格付関係者からは、信用評価に重要な影響を及ぼす非公表情報を入手している。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル